

わりが希薄になっていると言われています。そういう子どもたちに他者理解と自己表現の経験を積ませることはたいへん大事なことだと言えるのです。そして、「自分とは考え方の違った他者に向かって自分の意見を述べる力」をつけ、さらに、人との関わりを通して「折り合う力」を付けていく必要があると考えます。そうすることによって、パブリックスピーキングといわれる相手を説得する話し方、情報を与える話し方なども身に付いていくのではないのでしょうか。そのことが、話し合い活動を重視しなければならない理由です。

その話し合いの基盤は学級活動にあります。それは、学級活動は、子どもの実生活の場を活動の舞台にしているからです。話し合い活動はあらゆる教育活動のもっとも基本になるべきものです。新しい教育のキーワードである「人間力」は、その根本に「話し合いの力」があって成り立つものだと考えます。他の教科・領域の指導効果を上げるためにも、学級（学校）をより楽しく、より明るくしていくためにも、話し合い活動を軽視するわけにはいかないのです。

■話し合いで育てるもの

2つ目に、話し合いの指導で育てるものという視点から考えます。

学級のみんなが話し合い活動に参加し、望ましい結論を出していくためには、偏見を捨てて、友達の発言をよく聞き、その内容を正しく理解し、尊重することが要求されます。また、自分勝手な発言を抑制したり、自分の発言に責任をもったりするようにも心がけなければなりません。すなわち、話し合い活動を通して、子どもたちは自由・平等・寛容・自主・協力など民主的な生活態度を養っていくことになるのです。

話し合いで育てることができるものの2つ目に、ものの見方・考え方があります。それは、次の3点です。

～～～*～～～*～～～*～～～*～～～*～～～*～～～*～～～*～～～*～～～*

課題性・相互性・現実性

～～～*～～～*～～～*～～～*～～～*～～～*～～～*～～～*～～～*～～～*

◇課題性

学級集団が充実し、よりよく発展していくために、解決すべき課題として価値があるかということを見極める考え方です。活動に目的を持たせる意味からも大切です。

◇相互性

お互いのよさを認め合い、助け補い合いながら協力して活動できるかということを見極める考え方です。協同課題を設定する意味からも大切です。

◇現実性

時間・場所・施設・用具あるいは、自分たちの能力から考えて実践に移していけ

るかということを見極める考え方です。主体性とも大きく関わってきます。

このような考え方は、生活に基づいた話合いの指導でこそ身に付けることができるものであると考えます。

2 学級イベントは学級のまとまりと学級文化をつくる！～その3

学習の発展として教師が計画して行う全員参加型の学習イベント活動

山陽小野田市立高千帆小学校 能勢雅子

時々、学習の発展として、学習ゲームを組みます。楽しみながら学習を定着させたり意欲を向上させたりすると共に、集団でふれあいながら学んだり、協力しながら学んだりすることもねらっています。教科の時間にも人間関係づくりをすることや、人間関係づくりもできるので一石二鳥です。例えば、国語の漢字学習の発展での漢字ビンゴや漢字あわせゲーム、作文の学習での二人作文などいろいろありますが、漢字あわせゲームを発展させた「お宝発見ゲーム」と持久走学習を発展させた「クラスリレーフルマラソン」を紹介します。

<お宝発見ゲーム>

子どもたちは宝探し大好きです。(牛乳キャップに番号を書いてかくし、その番号と同じ賞品がもらえるというゲーム。賞品は手作り品) お宝発見ゲームは宝探しのアレンジバージョンです。

- (1)カードに漢字の偏やつくりなど漢字を分解したパーツを書きます。
 - (2)パーツの漢字カードをかくします。(あるいは、周囲にばらまきます。)
 - (3)グループ(4人くらい)で制限時間以内にカードを探します。
 - (4)5分など制限時間内にグループで集めたカードを組み合わせて漢字をつくりま
- す。
- (5)得点をグループで計算します。

漢字一つにつき3点

漢字の組み合わせで熟語ができた時はボーナス点で別に10点

全く組み合わせができなかったとき、また時間があるときは、見つけた偏のつく漢字を10個書くと3点など

- ・グループで協力して活動します。
- ・楽しく漢字学習と計算学習ができます。
- ・グループの得点を累計し3日間グループマッチをして楽しむこともできます。

☆九九、県名と特産物、県名と県庁所在地、国名と首都、ことわざの上の句と下の句、百人一首の上の句と下の句、歴史の年号と歴史的事象などいろいろな学習の発展が楽しくできます。このカード取りゲームを楽しむと子どもたちが自分たちで企画して行うようになります。

☆最近の子どもたちの実態をみますと、「〇〇サブリゲーム」などのネーミングがよいかもしれません。

<クラスリレーフルマラソン>

これは人数の少ないクラスでは大変ですが、クラスの全員がリレー形式で42.195kmを走るといふイベント活動です。

42.195kmを何時間何分で完走するか(目標タイム)、どのような順番で走るか、目標タイムを達成するためにどんなことに気を配るかをみんなで話し合って決めます。特に、このどんなことに気を配るかの柱を大切に、一人一案は意見をいうように考えさせます。

クラスリレーフルマラソンの最初はよいのですが、終わり頃にはばててきます。そこで、みんなが励まし合い、走るのが苦手な人には距離を短くしてあげてバトンを受けるなど気を配ります。42.195kmを完走したときには、もう、みんな感動です!

このイベント活動を通してお互いを思いやることを学び、クラスの心が一つになります。

~~~~\*~~~~\*~~~~\*~~~~\*~~~~\*~~~~\*~~~~\*~~~~\*~~~~\*~~~~\*~~~~\*~~~~\*~~~~\*~~~~\*~~~~\*~~~~

今まで、メルマガ7号、8号、9号と3パターンのイベント活動を紹介してきましたが、イベント活動を重ねると次のような資質や力がついてくるように思います。

- ◇自主性：自分から進んで計画したり、活動に参加したりしようとします。
- ◇主体性：自分のできそうなことや貢献できそうなことにチャレンジしようと、一人一人のよさが生かされます。
- ◇計画力：イベント活動を行うことにより見通しを立てて計画しようとします。
- ◇実行力：イベント活動の主催者はイベントの準備や進行などを行い、そのイベント活動がうまくいくように実行しようとします。
- ◇協力：ルールを守りイベント活動をしながら助け合おうとします。
- ◇人間関係調整力：お互いのよさや特性に気づき、お互いを気遣うようになります。また、トラブルが起きたときには、どのようにして解決するか、当事者だけでなく周りの人も調整していくようになります。
- ◇クラスがまとまる力：イベント活動により、学級全体が目標に向けて認め合い励まし合いながらより高まりまとまろうとします。

イベント活動が子どもたちの手で自主的にできるまでは、教師が企画して実施し、イベント活動の楽しさ・よさを十分体感させるとよいと思います。

このようなイベント活動を重ねていくと学級のまとまりが生まれてきます。また、じゃんけんゲームやダンス、百人一首、折り紙がはやったり、時には、ことわざや県名覚えがはやったりと学級文化が生まれてくるのが期待できます。

-----

### 3 メルマガ情報交換広場

---

このメルマガを使って、学級作りについての情報交換をしませんか？ 今、募集中のテーマは、次の4つです。

#### ◆ 1学期の取組み

1学期の取組みで、「子どもたちがよく協力し合うようになった」「自分たちの問題を自分たちで考えるようになった」など、学級の雰囲気がよくなった取組みはありませんか？ぜひ、情報交換をしましょう。

#### ◆ 盛り上がったイベント活動

こんなイベント活動があるよ、学級でこんなイベント活動をしたら盛り上がったよなどというイベント活動の情報、ありましたら紹介をお願いします。

#### ◆ 今年の「学級目標」

今年の学級目標を教えてください。学級目標とそれにかかわるエピソードや学級目標の意味などを送ってください。

#### ◆ 子どもが本気になった係活動

これまでつくられた係で、子どもたちが本気になって取り組んでいる係活動を教えてください。係の名前と活動内容を募集します！

下記アドレスまでメールでお知らせください。

☆ sugi-net@c-able.ne.jp

---

### 4 必見！「山口学級活動ネットワーク 夏の学習会」のお知らせ

---

◇山口学級活動ネットワークでは、「子どもが生き生きと輝く学級作りをめざして」をテーマに、この夏休みに学習会を行います。

2学期からの学級作りをみんなでいっしょに考えましょう。特別活動・学級作りに興味のある方、どうぞご参加ください！

期日 2006年8月26日（土）

会場 山口県立大学 看護学部

主催 山口学級活動ネットワーク

後援 山口県教育委員会 山口市教育委員会

日程 9:00～ 受付  
 9:20～ 開会行事  
 9:30～ 基調講演「特別活動における個と集団」  
 山口県立大教授 相原次男 先生  
 10:40～ 実践提案「特別活動で学級をつくる～さわのび学級の一年」  
 山口市立平川小 梶田崇晴  
 12:00～ 昼食休憩  
 13:00～ 2学期から使える学級作りミニ実践  
 たくさんのおみやげを準備しています！  
 14:30～ 記念講演「これからの特別活動と学級作り（仮題）」  
 前文部科学省視学官  
 日本体育大学教授 宮川八岐 先生  
 16:00～ 閉会行事

参加費 1500円（弁当代込み2200円）

---

5 メルマガ編集部からのお知らせ

---

◆次号の予告◆◇◆

第10号は8月下旬ごろ発行予定です。

次号では、「子どもが主体的に取り組む話し合い活動～議題編」「2学期の係活動」について紹介する予定です。

◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は96名です。少しずつ購読者が増えてきています。もっともっとメルマガ仲間を増やしたいと思います。

お知り合いの方にこのメルマガを紹介してもらえませんか。

登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

---

山口学級活動ネットワーク メールマガジン

☆ご感想・ご意見はsugi-net@c-able.ne.jpまで

☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部

梶田崇晴（山口市立平川小） 津村元文（防府市立西浦小）

能勢雅子（山陽小野田市立高千帆小） 吉田哲朗（山口大学附属山口小）

---